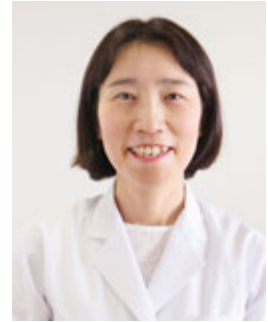


巻頭言 就任の御挨拶

眼科学教室 教授
喜田 照代



2021年4月1日付で大阪医科薬科大学医学部感覚器機能形態医学講座 眼科学教室教授を拝命致しました。甚だ微力ではございますが、母校の発展と教室の充実のために専心努力する所存です。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

私は1996年大阪医科大学を卒業し、東郁郎先生主宰の本学眼科へ入局しました。その後、1999年4月京都府立医科大学より池田恒彦先生が着任され、現在の教室運営に至っています。私は、メディカル網膜の診療と、眼循環・黄斑疾患に関する基礎および臨床研究を専門としております。また、現在、当教室にはほぼ全ての眼科専門領域(網膜硝子体、神経、ぶどう膜、緑内障、角膜、涙道・眼瞼など)があります。教室員の協力を得て各領域をバランス良く発展させられるようマネジメントすることが私の役割の一つです。決して容易なことではありませんが、そのためには私を含め教室員全員が一丸となり、“人間力”を高めることが必要だと考えています。また、各先生方の得意分野を生かし、その先生の人生においてタイミングやチャンスを逃さないことも重要です。たとえば、私の人生において、留学は辛いこともありましたが無後悔はなく、あのとき思い切って留学して本当に良かったと今も思い出します。そして、人生100年時代、キャリア形成や復職支援等も視野に入れ、時代の流れに順応した、開かれた教室を目指したいと思います。

大阪医科大学と大阪薬科大学が統合され、母校も大阪医科薬科大学に新しく生まれ変わりました。コロナ禍にて前途多難の船出となりましたが、気持ちを新たに、優秀な学生および眼科医の育成と、基礎の教室や他診療科の先生方との信頼・連携を大切に、より良いチームワーク・国際化を目指して、自ずと人が集まる、プロアクティブな開かれた教室にしたいと思います。今後とも何卒ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

略歴

1996年 3月 大阪医科大学卒業
1996年 5月 大阪医科大学眼科学教室入局
2002年 3月 大阪医科大学大学院修了、医学博士
2002年 4月 淀川キリスト教病院眼科医員
2005年 5月 米国カリフォルニア大学サンディエゴ校眼科フェロー
2007年 6月 淀川キリスト教病院眼科副医長
2009年 4月 市立枚方市民病院眼科副部長
2011年 4月 大阪医科大学 眼科講師(准)
2014年10月 大阪医科大学 眼科講師
2020年 4月 大阪医科大学 眼科診療准教授
2021年 4月 大阪医科薬科大学医学部 感覚器機能形態医学講座 眼科学教室 教授

学会活動等

- 日本眼循環学会理事
- 日本糖尿病眼学会理事
- 大阪医科薬科大学 女性医師・研究者支援センター 副センター長
- 2002-2005年 Diversity Issues Committee member, ARVO
(The Association for Research in Vision and Ophthalmology, USA)

賞罰

2002年 4月 MSD(Merck-Sharp-Dohm) Award 受賞
2008年10月 Glaucoma Meeting Basel, International Poster Award 受賞
2012年 9月 第8回 鈎奨学基金研究助成金 受賞
2018年 3月 眼医療研究助成(木原満智子眼医療基金) 受賞